



平成25年3月期 第1四半期決算短信[日本基準](非連結)

平成24年8月10日

上場会社名 中部水産株式会社

上場取引所 名

コード番号 8145 URL <http://www.nagoya-chusui.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 堀 健雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 鈴木 祥司

TEL 052-683-3110

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益		
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
25年3月期第1四半期	9,448	△7.3	5	△82.3	54	△33.6	△123	—	
24年3月期第1四半期	10,194	△0.6	31	—	82	148.5	56	—	
1株当たり四半期純利益			潜在株式調整後1株当たり四半期純利益						
25年3月期第1四半期			円 銭	円 銭					
24年3月期第1四半期			△6.62	—					
			3.03	—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
25年3月期第1四半期	百万円 14,700	百万円 11,950	% 81.3
24年3月期	百万円 14,752	百万円 12,060	% 81.8

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 11,950百万円 24年3月期 12,060百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
24年3月期	円 銭 —	円 銭 4.00	円 銭 —	円 銭 4.00	円 銭 8.00	
25年3月期	—	—	—	—	—	
25年3月期(予想)	—	4.00	—	4.00	8.00	

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益	
第2四半期(累計)	百万円 19,300	% △4.9	百万円 15	% △29.4	百万円 80	% △13.2
通期	百万円 41,000	% △2.1	百万円 110	% 7.7	百万円 250	% 4.3

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 有
② ①以外の会計方針の変更	: 無
③ 会計上の見積りの変更	: 有
④ 修正再表示	: 無

(注) 「四半期財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第5条の4に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	19,969,000 株	24年3月期	19,969,000 株
25年3月期1Q	1,370,195 株	24年3月期	1,369,304 株
25年3月期1Q	18,599,157 株	24年3月期1Q	18,601,081 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 繼続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景に緩やかな回復傾向にあるものの、欧州政府債務危機の再燃による世界経済の減速、円高の長期化や電力供給不足への懸念など、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

当業界におきましては、消費者の低価格・節約志向から個人消費は低迷し、市場内外での販売競争が一層激しさを増すなど、引き続き厳しい経営環境となりました。

この結果、売上高は、卸売部門が取扱数量の減少により売上減となり、飼料工場が需要の減少により大幅な減収となるなど、9,448百万円（前年同四半期比7.3%減）となりました。利益面については、販売管理費の削減はありましたが、売上総利益の減少や特別損失に投資有価証券評価損の計上があり、123百万円の四半期純損失（前年同四半期は四半期純利益56百万円）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(卸売部門)

鮮魚は、生キハダ、ホタテ貝柱が取扱数量の増加により売上増となりましたが、ウナギ、マダイ、アサリなどの入荷減、スルメイカ、冷サンマなどの単価安により減収となりました。

冷凍魚は、冷チリ銀サケが供給過多による単価安で売上減となり、輸入凍魚が全般的にコスト高のため搬入減となるなど減収となりました。

塩干魚は、辛子明太子、タラコが原料値上げ前の需要増で売上増となりましたが、塩鮭鱈の単価安、チリメンの不漁、練製品の消費不振などにより減収となりました。

この結果、売上高は9,002百万円（前年同四半期比6.2%減）、営業利益63百万円（同36.9%減）となりました。

(飼料工場部門)

養鰻用飼料が、シラスの不漁で国内外ともに池入れ量は減少し、売上減となり、水産向魚粉が販売数量は前年並みでしたが、単価安で減収となりました。

この結果、売上高は220百万円（前年同四半期比35.5%減）、営業利益は21百万円（同11.3%減）となりました。

(食品加工場部門)

いか製品のポット商品やピロ商品が小口受注中心の販売で売上減となり、切イカなどの佃煮原料も需要減により落ち込み、減収となりました。

この結果、売上高は84百万円（前年同四半期比30.1%減）、営業損失は9百万円（前年同四半期は営業損失6百万円）となりました。

(冷蔵工場部門)

液卵、納豆など順調な搬入に加え、塩鮭鱈など市場内貨物の集荷に努め、増収となりました。

この結果、売上高は110百万円（前年同四半期比4.2%増）、営業利益は12百万円（同22.3%増）となりました。

(不動産賃貸部門)

売上高は29百万円（前年同四半期比1.1%増）、営業利益は16百万円（同8.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期会計期間末における総資産は、14,700百万円となり、前事業年度末に比べ51百万円（0.3%）減少しました。これは主に、商品及び製品の増加186百万円などがありましたが、投資有価証券の減少173百万円、原材料及び貯蔵品の減少59百万円などによるものであります。

負債は、2,750百万円となり、前事業年度末に比べ58百万円（2.2%）増加しました。これは主に、賞与引当金の減少43百万円、受託販売未払金の減少23百万円などがありましたが、支払手形及び買掛金の増加79百万円、退職給付引当金の増加18百万円などによるものであります。

純資産は、11,950百万円となり、前事業年度末に比べ110百万円（0.9%）減少しました。これは主に、その他有価証券評価差額金の増加87百万円がありましたが、利益剰余金の減少197百万円などによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

最近の業績動向を踏まえ、平成24年5月14日に公表いたしました平成25年3月期の第2四半期累計期間・通期業績予想を変更いたしました。詳細につきましては、平成24年8月10日付「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,882,393	3,850,025
受取手形及び売掛金	1,938,414	1,904,815
有価証券	3,100,000	3,100,000
商品及び製品	609,942	796,645
仕掛品	33,526	47,572
原材料及び貯蔵品	453,069	393,208
その他	54,312	133,559
貸倒引当金	△11,738	△11,492
流動資産合計	10,059,919	10,214,334
固定資産		
有形固定資産		
建物 (純額)	1,253,282	1,229,854
その他 (純額)	784,608	777,618
有形固定資産合計	2,037,891	2,007,472
無形固定資産		
投資その他の資産	83,973	75,487
投資有価証券	1,784,701	1,611,306
その他	824,382	828,880
貸倒引当金	△38,586	△36,749
投資その他の資産合計	2,570,498	2,403,437
固定資産合計	4,692,362	4,486,397
資産合計	14,752,282	14,700,732
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,463,269	1,542,708
受託販売未払金	195,583	171,860
未払法人税等	8,726	4,022
賞与引当金	61,000	18,000
役員賞与引当金	12,190	—
その他	240,753	292,940
流動負債合計	1,981,522	2,029,530
固定負債		
退職給付引当金	545,839	564,568
その他	164,026	156,225
固定負債合計	709,866	720,794
負債合計	2,691,388	2,750,324

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,450,000	1,450,000
資本剰余金	1,045,772	1,045,772
利益剰余金	10,565,992	10,368,394
自己株式	△660,763	△660,958
株主資本合計	12,401,000	12,203,208
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△340,107	△252,800
評価・換算差額等合計	△340,107	△252,800
純資産合計	12,060,893	11,950,407
負債純資産合計	14,752,282	14,700,732

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	10,194,751	9,448,671
売上原価	9,686,538	8,976,422
売上総利益	508,213	472,249
販売費及び一般管理費	477,047	466,731
営業利益	31,165	5,517
営業外収益		
受取利息	3,664	3,507
受取配当金	34,324	32,506
その他	13,437	13,647
営業外収益合計	51,426	49,661
営業外費用		
雑損失	—	311
営業外費用合計	—	311
経常利益	82,592	54,867
特別損失		
固定資産処分損	15	—
投資有価証券評価損	—	261,001
特別損失合計	15	261,001
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	82,577	△206,134
法人税、住民税及び事業税	995	1,022
法人税等調整額	25,140	△83,956
法人税等合計	26,135	△82,934
四半期純利益又は四半期純損失(△)	56,441	△123,199

(3) 繼続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売部門	飼料工場 部門	食品加工場 部門	冷蔵工場 部門	不動産賃貸 部門			
売上高								
外部顧客への 売上高	9,595,183	342,777	121,456	106,458	28,875	10,194,751	—	10,194,751
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	4,422	—	1,248	23,303	—	28,973	△28,973	—
計	9,599,606	342,777	122,704	129,761	28,875	10,223,724	△28,973	10,194,751
セグメント利益 又は損失 (△)	100,541	24,105	△6,897	10,158	14,749	142,656	△111,490	31,165

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△111,490千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売部門	飼料工場 部門	食品加工場 部門	冷蔵工場 部門	不動産賃貸 部門			
売上高								
外部顧客への 売上高	9,002,664	220,996	84,933	110,878	29,198	9,448,671	—	9,448,671
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	7,668	—	1,131	25,152	—	33,952	△33,952	—
計	9,010,332	220,996	86,065	136,031	29,198	9,482,623	△33,952	9,448,671
セグメント利益 又は損失 (△)	63,402	21,385	△9,716	12,422	16,026	103,520	△98,002	5,517

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△98,002千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。